

No. 164 2023.9.1

### 日本カトリック海外盲教者を支援する会







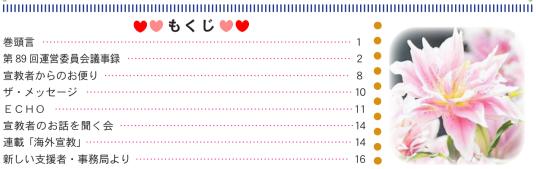
# 「気が付けば鈴虫の鳴くタイ国の」

カトリック大阪大司教・枢機卿 前 万

2022年10月11日から31日まで20日間、アジア司教協議会(FABC)50周年総会のため、 タイ国のバンコクに行きました。最初の10日間は食べ物も美味いし環境も良いし、会議も交 流もスムーズで体調も万全でした。「気が付けば鈴虫の鳴くタイ国の」とばかりに元気はつらつ、 魚釣りも楽しみました。しかし、後の10日間は日ごとに食欲もなくなり体調も悪化して命か らがらの帰国となりました。即、病院に行くと明らかに血液の数値まで危険状態でした。こん な困難を乗り越えて海外盲教を務めている皆様方のご苦労は命がけであろうとご察し申し上げ ます。

タイでは同時にまた、「住めば都」とばかりに笑顔で盲教師として働く一人の日本人修道女 に出会いました。タイ・バンコクに住む日本人共同体のミサを頼まれて5人の司教たちで訪問 したのです。シスターは、日本人たちのお母さん的存在のようでした。また、現地人たちとの 交流も深く、わずか1日の間にいろんな人と場所を精力的に案内してくださいました。体は癌 を患っていると聞いていましたが、少しも体調の悪さを表に出しません。次の日にはまた、修 道会自体の召命・使命である書籍・聖具販売に FABC 総会会場に来ておられました。

**●●** もくじ ●● 巻頭言 ······ ECHO ......11 宣教者のお話を聞く会 ………………………………………………14 連載「海外宣教」 14 



ブラジル移民の父と言われる中村長八神父様の話や、それに続く日本からの宣教師たちの話は聞いてはいたものの、実際の体験がない私には他人事のような印象でした。また、確かに「日本カトリック海外宣教者を支援する会」の「きずな」誌を読んでも、「ああこの方は今、そこにいるのか、外国に行っているのか」くらいの感覚でしか読んでいませんでした。本当に申し訳なく思います。

この度、「きずな」誌の巻頭言を依頼されて、あらためて最近の「きずな」誌を何誌か読ませていただき、気付いたことがあります。たとえば、たわいもないことのようですが、毎回の目次の横には、その季節の花の写真が掲載されています。2022年6月号には、「紫陽花」でした。日本の6月は紫陽花の季節です。紫陽花公園を訪ねたり新聞テレビで報道されたり、身近な修道院や教会にも咲き始めます。梅雨のうっとうしさを吹き飛ばしてくれます。イエスのカリタス修道会のシスター末吉の巻頭言も、「七変化」(紫陽花の別名)にふさわしい「変わり続けながらも寄り添い同伴する」宣教観を想わせます。

2023年3月号には椿の花(玉の浦)でした。巻頭言では、聖心侍女会の深沢シスターが、「東ティモール」の治安の安定に触れていました。大変な苦難を乗り越えての、しかもアジアではフィリピンとの2国だけのキリスト教国(カトリック)になった象徴のような「椿」です。「赤椿」は殉教の「象徴」ともいわれています。しかも、白で縁取られた「五島の玉の浦椿」です。偶然かもしれませんが、「赤の殉教(十字架)を経て白の復活を遂げたキリストの受難・十字架と復活を象徴している」かのような椿です。

取り上げればきりがありませんが、海外で働く宣教者たちにとっては、この季節の花の写真 だけでも大きな力をいただくのではないかと感じました。

最後に、2022 年 12 月号の神言会司祭のことば、「現在私が住んでいる志願院の神学生たちを含め、ケニヤ・タンザニア、そしてアフリカで神の呼びかけに答えようと努力している若者たちのために、皆さまのお祈りをよろしくお願いいたします。」を心にとめて、海外で働く宣教者たちにエールを送りお祈りしたいと思います。

感謝と祈りのうちに

# □■□ 第 89 回運営委員会議事録 □■□

日 時: 2023年6月10日(土) 13:00~14:05

場 所:聖フランシスコ修道会 聖ヨゼフ修道院2階会議室 参加:運営委員11名

議事

I. 2022 年度活動報告: すべて承認された。

所在地 東京都港区六本木4-2-39

委 員 顧問司教:山野内倫昭司教(さいたま教区) 会 長:村上芳隆神父(聖フランシスコ会) 運営委員: 伊藤厚志、Sr. 桐野香(マリアの宣教者フランシスコ修道会)、後藤由美子、島上麻子、全相奎、諏訪なほみ、中村文子、Sr. 延江由美子 (M.M.S)、波多野光男 (12月帰天)、波多野真理子、Sr. 日高和子 (聖心侍女修道会)、山田真知子、他に余語洋子 (新スタッフ)

会 議 運営委員会開催 2022 年 6 月 11 日、9 月 10 日、12 月 10 日、2023 年 3 月 11 日 諸活動

### 1) 広報活動

- a. 宣教地からのレポートと国内会員の声などを掲載した広報誌「きずな」を年4回(6、9、12、3月)発行し、国内会員と海外で働く宣教者に送付し相互の交流と宣教者の現地活動を日本の方に伝えた。ホームページも定期的に更新。会員外にも広く活動を告知できた。
- b. 海外宣教者のお話を聞く会

今年はコロナ禍だったが東京大司教区、菊地 功大司教にお話をいただいた。(リモート)。 その内容は 2023 年きずな 162 号に詳しく掲載。

c. カトリック新聞に会の情報を掲載、新入会員を得ることができた。

### 2) 援助活動

世界各地の宣教者から申請のあった援助について、資料を基にして実情や内容について運営委員会で検討し、緊急性や必要性の高いものから援助を決定し、実行。

本年度の運営委員会はリモート2回、対面2回行った。また世界的なコロナ禍継続により、 今年の援助申請も大変少なかったが何件かは援助をさせていただけた。

### 3) 宣教者への支援活動

「きずな」は季刊で世界 110 ヶ所以上、寄付された雑誌やカトリック新聞等を世界各地に毎月あるいは 2 か月に一度遠方 50 ヶ所に送付。12 月クリスマスカードに一言を添えて全員にお送りした。しかしながら世界的コロナ禍で、いたるところ郵便事情が悪く現地に遅れて到着したと思う。このような時であるからこそ直接受け取ることで読み手も外に出られない昨今、大変な楽しみだとの感想も多く、回覧もされた。HP を見るにもネットの通信環境は世界平等ではないため。

### 4) その他

- ・コロナ禍に宣教者の帰国もあったが「事務局訪問」で宣教者に直接お会いすることは非常に少なかった。メールによる報告や投稿等で現地を知ることが出来た。また直接送られている会報「きずな」により、他の宣教者の様子を知ることができて非常に力になったとの感想もいただき、さらには事務局や会員と繋がることが出来たのではないかと考える。
- ・今年もコロナ禍で、会員の方々とお目にかかることはできなかったが、より多くのご感想などを「きずな」紙のエコー欄でお伝えすることができた。

新入会員 22 名・入金件数(個人 299 件)(団体修道会、教区、教育関係他 365 件)

Ⅱ. 2022 年度決算報告: すべて承認された。

# 2022 年度 会計決算

### (1)入金の部

2023年3月31日

海外宣教者を支援する会

(金額単位:円)

	項		目		2022年度予算額	2022年度決算額	摘 要
会	費寄	付	金ノ	、金	9,500,000	8,042,768	会費、寄附金等
基	金	取	崩	J		0	
雑		収		入		1,140	交通費戻り
預	け	金	利	子		84	銀行
前	年 度	き 乗	削余	金	11,430,235	11,430,235	
	1	合計	F		20,930,235	19,474,227	

### (2)出金の部

(金額単位:円)

	項	目		2022年度予算額	2022年度決算額	摘要
援	J	助	費	8,000,000	1,467,908	援助費、(\$援助3,440.00別)・新聞、雑誌、カード
研	1	修	費	50,000	50,000	お話会謝礼
基	金	繰	入			
	広		報	1,200,000	1,430,480	会報誌「きずな」作成、カトリック新聞広告
	印	刷	費	320,000	283,980	封筒、宛名印刷、コピー機リース料、維持費
	通	信	費	1,450,000	1,449,150	「きずな」国内外発送費用、インターネット、電話代
	事系	务 用	品 費	16,000	20,106	コピー用紙、ラベル紙、電池、文房具
油	維力	寺 管	理 費	1,620,000	1,622,419	23年1月より2人、アルバイトー人採用、事務所費他
運営経費	支扌	ム手	数 料	160,000	183,961	振替口座払込手数料等
経费	交	通	費	130,000	129,634	事務所2人、運営委員会委員分、ボランティア分
具	会	議	費	30,000	15,873	会議室使用料、雑費
	雑		費	50,000	106,135	慶弔費他、
	備		品	12,000	38,602	情報ハンドブック、冷蔵庫購入、など
	予	備	費	0	11,760	謝礼等
	小		計	4,988,000	5,292,100	
当 其	月支	出	合 計	13,038,000	6,810,008	
次	期	剰 🦸	余 金	7,892,235	12,664,219	
	슫	計	•	20,930,235	19,474,227	

# 2022 年度 援 助 費

単位¥&\$

NO.	国名	申請者/申請内容	援助額
1	チヤド	平静代シスター(ショファイユの幼きイエズス修道会、)よりライにある小、中、高生の住むペタニア寮の隣の幼稚園内にある手動ポンプ2基の鉄管が錆びているため、腐食しない管に交換、購入費と工事費送金。約1,082ユーロ分	¥153,968
2	チャド	平静代シスター(ショファイユの幼きイエズス修道会、)より女性15人に「料理と家事」の研修に参加させたい、この方々を核として料理と家事のトレーニングセンターを発足させたいため、研修費と整備設置費送金。約7,107.17ユーロ分。	¥1,011,350

3	ブラジル	故長山武一神父(神言会)が帰天されて2年、以前巡回されていたところを引き継いだ山本伊三男神父はパンデミックで黙想の家活動停止の為に無収入である。あちらこちらに行くため車のガソリン代に困っておられ、松尾繁詞神父(コンヴェントアル聖フランシスコ会)より1か月\$120、1年分手渡し送金。	\$1,440 (約¥154, 339)
4	東チモール	中村葉子シスター(聖心侍女修道会)より独立後の20年を経た東チモール、教育分野の遅れが際立っている。 当修道会カサイ修道院は周辺に小、中、高、大の学校があり、教育に適した環境にある。そのため養成センターを児童・生徒・学生に提供しているが、図書館の蔵書不足に悩んでいる。蔵書購入費用として手渡し。	\$2,000 (約¥267,950)
5	東チモール	中村葉子シスター(聖心侍女修道会)より、同じ用件で\$口座から\$2,000と円口座から500\$分の額¥65,845を合わせて合計\$2,500分帰国中のシスター中村に手渡しした。	¥65,845
6	日本	カトリック雑誌(寄付品含む)、・カトリック新聞・クリスマスカード・「こじか」等を援助。	¥236,745
	\$小計	\$にて手渡し	\$3,440.00
	¥合計	円送金と手渡し	¥1,467,908

\*レートは時期により一律ではありません。 \*3,4の援助は\$口座から\$3,440を直接使用。

# 2022 年度 貸借対照表

2023 年 3 月 31 日現在 (金銭単位 円)

			(亚坎干瓜 1)/	
資産(	の部	負債及び剰余金の部		
郵便局振替貯金	212,224	期末剰余金	12,664,219	
みずほ銀行高田馬場支店	12,284,070			
現金(円)	167,925			
合計	12,664,219	合計	12,664,219	

(\$現金を190.00保有)

### 援助基金内訳

100-23-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11		
金融機関名	金額単位(円)	金額単位(\$)
ゆうちょ銀行	9,797,940	
三菱東京UFJ銀行	4,326,932	
みずほ銀行(外貨 \$預金)		2.16
合計	14,124,872	2.16

# 援助基金推移詳細

	前年度繰り越し	9,797,899	
ゆうちょ銀行	利息	41	
	小計	9,797,940	
	前年度繰り越し	4,326,896	
	寄付	0	
三菱UFJ銀行	利息	36	
	経常勘定へ	0	
	小計	4,326,932	
	前年度繰り越し		3,441.61
   みずほ銀行外貨 \$ 預金	出金		3,440.00
の方もは戦打が負の損金	利息		0.55
	小計		2.16
合詞	†	14,124,872	2.16

\*2022年度中援助金として\$3,440.00を使用したため減額(\$=¥132.71)

# 2022 年度 会計監査報告

2022年度の会計監査を実施したところ適正であることを認めました。

2023年5月16日

# 監查役 桐野 香

Ⅲ. 2023 年度活動計画・予算審議: すべて承認された。

所在地 東京都港区六本木4-2-39 聖フランシスコ会内 2F

委 員 顧問司教:山野内 倫昭(さいたま教区司教:サレジオ会)

会 長:村上 芳隆(聖フランシスコ会)

運営委員:伊藤厚志、桐野 香 (マリアの宣教者フランシスコ修道会)、島上麻子、全相奎、諏訪なほみ、谷口美帆 (イエスのカリタス修道女会) 中村文子、延江由美子 (メディカル・ミッション・シスターズ)、波多野真理子、日高和子 (聖心侍女修道会)、余語洋子 (スタッフ)、山田真知子 (事務局長)

会 議 運営委員会 年4回開催 (6月、9月、12月、2024年3月) 諸活動

- 1. 広報他 〇「きずな」年4回発行 3,000部
  - ホームページの運営による広報活動
  - ○カトリック新聞に広告掲載
  - ○いくつかの教会に「きずな」を複数置かせていただく
- 2. 援 助 ○援助申請があれば運営委員会で申請プロジェクトを審議の上、実施
  - カトリック雑誌やカトリック新聞なども海外宣教者に送付
  - 〇「きずな」を海外宣教者に送付(宣教者間の情報共有他)
  - 3年に一度、海外宣教者名簿を作成し全宣教者に送付。
- 3. 講演会・勉強会
  - 本年は「宣教者のお話を聞く会」を可能であれば対面で行いたい。勉強会 も考えたい。
- 4. その他 〇 帰国、一時帰国された宣教者とのコンタクト、電話やメールでインタビューを行う。可能であれば事務所にお越し頂く
  - クリスマスカードを作成、一言を添えて宣教者全員に送付

# 2023 年度 会計予算表

### (1)入金の部

(金額単位: 円)

								(並設十四: 11)
項目				•		2022年度決算額	2023年度予算額	摘要
会	費名	子イ	寸 🕏	金入	金	8,042,768	8,000,000	会費、寄附金等
基	金	J	权	崩	٦	0	0	

雑	収		入	1,140	0	
預	け 金	利	子	84	0	
前	年 度 剰	」余	金	11,430,235	12,664,219	
	合計			19,474,227	20,664,219	

### (2)出金の部

(金額単位: 円)

_						(亚银平区: 11)
	項	Ħ		2022年度決算額	2023年度予算額	摘要
援	助	]	費	1,467,908	8,000,000	援助費、雑誌、カトリック新聞、こじか、クリスマスカード作成
研	修	5	費	50,000	50,000	お話会謝礼等
基	金	繰	入	0	0	
	広		報	1,430,480	1,450,000	会報誌「きずな」作成、新聞広告
	印	刷	費	283,980	300,000	封筒印刷、宛名印刷、コピー機リース代と維持費
	通	信	費	1,449,150	1,450,000	電話、インターネット、会報誌送料国内外
	事 務	用品	占費	20,106	20,000	コピ―紙、文房具、電池他
	維持	管 珥	里 費	1,622,419	1,900,000	事務所2人分と事務所代、電気代、PC保守代他
運営経費	支 払	手 数	女料	183,961	190,000	振替口座会費振込手数料、各送金手数料
経費	交	通	費	129,634	130,000	事務所2人、運営委員会委員、ボランティア交通費
,	会	議	費	15,873	20,000	会議室使用献金¥5,000、4回
	雑		費	106,135	30,000	慶弔費、その他
	備		驲	38,602	10,000	情報ハンドブック、書籍代他
	予	備	費	11,760	10,000	
	小		計	5,292,100	5,510,000	
当 其	月 支	出合	計	6,810,008	13,560,000	
次	期乗	」 余	金	12,664,219	7,104,219	
	合詞	<u></u>		19,474,227	20,664,219	

### Ⅳ. 「きずな」163 号について

編集者から→事務局を訪問してくださる宣教者が出てきて、きずなのコーナーである「こんにちは! お久しぶりです!!」が掲載できた。ちょうど 16 ページにまとめる事ができた。

### **V**. 「きずな」164 号について

巻頭言→未定

### VI. 援助申請

南米グアテマラ市、シスター眞神シゲ (ベリス・メルセス宣教修道女会) より婦人の社会 的地位向上を目的とした勉強会を開催しており、講師の謝礼や全員の交通費など今年度開 催のための申請

合計 ¥500,000……承認された

### Ⅷ. その他

- ・国内「きずな」163号業者発送 2,827 通
- ・国内「きずな」57 通・海外「きずな」102 通事務所発送6月2日(ボランテイア2名・スタッフ1名)
- ・海外「雑誌」事務所発送 2 月 21 日 49 通・4 月 11 日 49 通・6 月 6 日 48 通スタッフ 1 名

・2023 年度お話会開催予定

日時: 9月 16日 (土) 13:30 ~ 15:30 (フランシスコ会聖ヨゼフ修道院 1 階ホール)

講師: Sr. 延江由美子(メデイカル・ミッション・シスターズ)

- ・2023年度クリスマスカード:成城教会信徒の絵を採用
- · 海外宣教者名簿 2024 年作成予定
- ・運営委員後藤由美子氏は3月末都合により退任
- ・運営委員は現在会長以下 12 名、会則では 14 名と記載のため 2 名増やしたい (事務局)
- ・9月委員会にて会則の見直しも予定

次回運営委員会 9月9日(土) 13:00~

# 宣教者からのお便り



オーストラリア

◆メルボルン◆

# メルボルンの共同体へ異動

### 聖パウロ女子修道会 松本 恵

メルボルンの共同体に属することになり、7 月22日(土)に出発してきました。

兄弟姉妹たちにこのことをメールで知らせると、一人の弟から「住所(地名)に"Melbourne"という文字は入らないのですね。」という返事がきました。

そうなんです。

兵庫県尼崎市園田にあった修道院は電話の市 街番号が大阪と同じ範囲にあったので大阪支部 と言っていたように、HAWTHORN EAST は メルボルンの郊外にあり、電話の市街番号もメ ルボルンと同じ 03 の範囲以内にあるので「メ ルボルン支部」と言っています。

ちなみに、アデレード修道院の住所は NORWOOD市で、電話の市街番号はアデ レードと同じ 08、シドニー修道院の住所は STRATHFIELD市で、電話市街番号がシドニー と同じ 02 範囲内にあります。

メルボルン支部の修道院と書店は同じ場所ですが、アデレードとシドニーの書店はアデレードとシドニーの中心部にあったので、住所に "ADELAIDE" "SYDNEY" という文字が入っていました。

# フランス ◆パリ◆

# 異動がありました

### 援助マリア修道会 今 嶋 みち子

日本の方々のお祈りに支えられているという ことを実感しています。

貴会を通して、ミッショネールの方々の状況 を知ることができるのもありがたいと思っております。お働きの上に神様の祝福をお祈りしています。

フランスの本部に派遣されている者が代わり ました。昨年6月から、シスター小川和子に代 わって、シスター和田有粧がこちらにおります。 シスター今嶋みち子は引き続きフランスの本部 におります。

皆様の日ごろのご尽力に感謝しながら、み国 が広がっていきますようにお祈り申し上げます。 こころから感謝のうちに。

グア<del>テ</del>マラ ◆コロンバ◆

# 勉強会の現状報告

### ベリス・メルセス宣教修道女会 眞 神 シ ゲ

ご支援ありがとうございました。おかげさまで、勉強会を続けることができる様になりました。嬉しい事です。その後の勉強会について報告させていただきます。

7月には、メルセス会の信徒国際会議が、メキシコ国グアダラハラ市でありました。そのための準備で、この会全体の責任者チェラさんがメキシコに行っていましたので、勉強会開始は、8月からになりました。

6月の各火曜日には、運営委員会を開いていました。決まった事は、運営委員の数を減らす。勉強会を火曜日のみとする、今までは、火曜日と木曜日の2回でした。これは、火曜日に参加できない方は、木曜日に、と言う1人でも多くの方の参加を考えたからでした。この1人でも多くの方の参加と言う趣旨は、変わりません。曜日は、火曜日のみになりましたが、開催時間を長くしました。途中からの参加ができる様にです。(朝8時から午後2時。出入り自由)このやり方は、日本の方には、理解が難しいかも知れませんね。仕事を持った主婦たちの勉強会

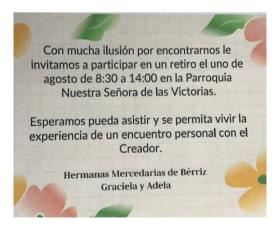
です。自分の仕事優先なのです。勉強の時間優先とは、できないのです。おやつ代を節約する。 (市販のもではなく手作りで安くあげる)8月からの学習カリキュラムについては以上でした。

8月には、グアテマラ国の大統領選挙があります。私腹を肥やす大統領ではなく、国民のための国民による政治が行われることを願う勇気ある大統領が選ばれる事を願っています。皆様のお祈りによる応援をお願いします。

運営委員のメンバーをご紹介いたします。メ ガネをかけた方がルキーさん、真ん中がアデラ さん、最後がチェラさんです。



8月1日から始まるチラシ配りました。スペイン語ですが、休んでいた勉強会が始まる連絡です。場所と時間が書いてあります。



# ブラジル ◆クリチバ◆

# パラナ州名誉市民権を授与

### 日伯司牧協会

日本からの宣教師、佐々木治夫神父(福岡教区)は2023年6月6日火曜日18時、パラナ州、 州議院会場において、パラナ州名誉市民権を授与された。(オリゾンテ8月号より)

6月6日夜、クリチバのパラナ州立法議会本 会議で正式な話合いが行われた。この称号は、 サン・ジェロニモ・ダ・セーラのハンセン病患 者に奉仕するフマニタスと農村家族の家を設立 した同州の日本人神父の軌跡を浮き彫りにした。彼の仕事は、このハンセン病対策の活動だけでなく、農民や困っている人々を含め、多くの人々を救った。「日本人であったが、現在はパラナ州の名誉市民である」とレモス州副官は宣言した。このイベントには政治家や領事も出席した。在クリチバ日本国総領事濱田圭司氏、コルネリオ・プロコピオ教区名誉司教マノエル・ジョアン・フランシスコ師、PANIB会長山本伊三男神父、副会長坂本エリオたけみ神父、信徒、純心聖母会シスター達や多くの人たちも出席。おめでとうございます。PANIBより、この当然の敬意を表して、佐々木治夫神父に敬意を表します。



### \*チャド ライ

### シュファイユの幼きイエズス修道会 松山浩子

6月6日に仁川修道院に一時帰って参りました。いつも心に留めて頂き感謝しています。お陰さまで助かりました。8月27日にチャドに向かって出発します。いろんな国の方々の祈りに支え合って生きているのを感じます。

8月頃お時間があればありがたいです。お心 お体ご大切に!感謝と祈りのうちに

### \*イタリア ローマ

### イエズス会 菅原裕二

以前より「きずな」を送って頂いておりましたが、この6月をもって赴任地ローマ(イタリア)より東京に異動するように通達が来ました。 長年にわたり貴誌を送って頂きたいへんありが とうございました。

皆さまの今後のご活躍の上に主の豊かな恵み をお祈りいたします。

### \*グアテマラ コロンバ

### ベリス・メルセス宣教修道女会 眞神シゲ

支援金こちらの銀行に無事入りましたとの連 絡がありました。ありがとうございます。

火曜日に運営会議をしています。運営委員の数も減りました。今年の勉強会の計画も立ったそうです。8月から始まります。7月にはライコス・メルセダリアンの全国集会があります。その準備になりますので、忙しさ真っ只中で喜んでいます。海外宣教者を支援する会の発展を祈っています。感謝です。

### \*日本 大分

### 大分教区司祭 川口 敏

いつも「きずな」を送ってくださり感謝しま す。いつもながら宣教師の出来事に感銘をうけ ています。特に163号2023年6月1日の巻 頭言にはなお更です。神言会司祭北島神父様の メッセージに感謝します。

北島神父様と私は神学校の同級生です。南山 大学でたくさん親切にしてもらいました。彼は 在学中、他の大学で法律の授業を持っていまし

^^^^^^

た。法学者でした。同時にスペイン語を学び、 将来の盲教の準備をしていたのです。偉いです ね。30年以上会っていません。一度だけ電話 で話したことがあります。一時帰国したころに。 アルゼンチンで盲教司牧している北島神父様の ことをときどき思います。今回、こうして巻頭 言から今の北島神父様を知りえたことは感謝で す。30歳後半から70歳の北島神父様の変わら ぬ姿勢に感銘を受けました。

◇夫が認知症になり、目がはなせない生活にな りました。シスター方々の活動に感謝を祈りま (さいたま県さいたま市 匿名) ◇益々のご活躍をお祈り致します。

(東京都世田谷区 後藤 由美子)

◇感謝のお祈りのうちに

(熊本県熊本市 益田 典子) ◇以前私も 10 年間海外で宣教していましたの で、心ばかりですがお送り致します。

(鹿児島県大島郡 春日 圭子) ◇「きずな」をお送り頂きまして有難うござい ます。Sr. 比護の「私たちの使命は私達修道会 の発展ではなく、主の福音を告げ知らせること です。」のお言葉に目が開かれた思いが致しま した。異国の地にあって不自由な生活の中で主 の福音を告げ知らせておられるシスターの皆様 に主からの豊かな祝福をお祈り申し上げます。

(栃木県那須町 シトー会那須の聖母修道院) ◇海外で働いていらっしゃる皆様の心身のご健 康を心よりお祈り致しております。

(兵庫県神戸市 森口 揚子)

◇いつも会員がお世話になっております。

(京都府京都市 幼きイエズス修道会京都修道院) ◇海外宣教に携わる方々のためにお祈り致しま す。心ばかりですが、

(東京都港区 酒井 三貴子) ◇「きずな」をお送り頂きありがとうございま した。宣教者の皆様のご活躍とご健康をお祈り 申し上げます。(青森県青森市 鈴木 裕子) ◇現地からの声は私たちをはげまします。あり がとうございます。

(福岡県福岡市 森 由理) ◇支援を待つ人々と、支援のために働く人々に 神様の豊かな祝福がありますように、お祈りい たします。 (東京都西東京市 高山 協子) ◇ほんの少しばかりでも応援出来ればと思いま した。(聖ドミニコ宣教修道女会、新居浜修道院) ◇お体ご大切に、遠き空よりお祈りいたしてお ります。 (大阪府大阪市 間野 秀昭) ◇世界中がこんなにも混乱している最中のお働 き、感謝、感謝です。祈っております。

(埼玉県さいたま市 長山 好子)

◇少しばかりでも応援出来ればと思いました。 ◇いつもありがとうございます。

(愛媛県新居浜市 聖ドミニコ官教修道女会)

◇ガテマラのスラムの援助のため

(大分県由布市 大分カルメル修道院)

(千葉県松戸市 平松 裕子)

◇皆様のご活動に感謝申し上げます。

(東京都文京区 スミス 睦子)

### ◆会員からのメッセージ

いつも事務局から「きずな」を送付いただき心から感謝と御礼を申し上げます。

きずな第一号から拝読いたしております。私事ですが、姉妹がパラグアイ盲教地に派遣されてい るエルマナ山田雲江です。今年で57年と記憶しています。派遣された間もなくだったように思い ます。妹が官教地での援助としてご送金を頂戴していること、初代八幡様を通してご無理を申し上 げていることも伺い、援助を頂戴して今までもこうしていられることを心から感謝し、姉として何 も出来なくて失礼致しております。今もこうして交流して頂けて、海外で活動していらっしゃるこ とを「きずな」を通して共感していることも、支援する会の皆様のご好意は、その働きが神様への 恩恵だと心から感じております。

つきましては「きずな」を拝読しておりまして郵便切手やはがき等の事務局からの記事を読み、 末の妹が三年前に他界、整理した切手、私が趣味で集めた切手など会でお使い頂ければ嬉しく思い ます。私は年齢的に100歳に近い年になり老化現象を考え、今でなければと思いお送りさせて頂 きます。貧しいお祈りですが、皆々様の上にお恵みが注がれますようにお祈り致します。

### 聖パウロ修道会様への御礼

四谷にあります男子修道会経営のサンパウロはカトリック雑誌「家庭の友」を出版されておりま す。当会にも毎月1冊お送りくださり、拝見しておりました。私たちの会からこの雑誌を宣教者の 方々に送りたいと思っておりましたので早速、聖パウロ修道会に連絡をしましたところ直ぐに会の 山内堅治神父様から有難いお話を頂戴致しました。神父様もやや難しいヴェトナムに宣教に行かれ ていた時期もございましたので、宣教者の方々に会の雑誌を読んで頂くのは大変嬉しいので是非寄 付させてくださいと仰ってくださり、今まで出版された「家庭の友」を沢山送ってくださいました。 事務所の前に5箱も届いていました。これから宣教者の方々に少しずつ送ることが出来ます事は大 変嬉しい限りです。山内神父様、出版社の関係者の皆様、宣教者になり替わりまして心から御礼を 申し上げます。有難うございました。

日本カトリック海外宣教者を支援する会

...........

# 2022 年度の支援者……感謝!

# 支援団体名

1 愛徳カルメル修道会島田修道院	36 カトリック手花部教会	79 三位一体の聖体宣教会	121 天使の聖母宣教修道女会	155 マリアの布教修道女会本部
2 愛徳カルメル修道会本部修道院	37 カトリック戸塚教会	80 師イエズス修道会	122 天使の聖母トラピスチヌ修道院	156 マリアの御心会茂原共同体
3 アシジの聖フランシスコ宣教修道女会	38 カトリック名寄教会	81 レデンプトリスチン修道会	123 東京カルメル会女子修道院	157 目黒サレジオ幼稚園
4 イエズス会	39 カトリック習志野教会	82 純心聖母会	124 燈台の聖母トラピスト修道院	158 善き牧舎の愛徳聖母修道女会
5 イエスのカリタス修道会 大村修道院	40 カトリック仁川教会	83 純心聖母会 浦和	125 十勝カルメル修道院	159 横浜雙葉中・高等学校
6 イエスのカリタス修道会 松本修道院	41 カトリック二本松教会	84 湘南白百合学園小学校	126 那須トラピスト修道院	160 レデンプトール修道会
7 イエスのカリタス修道女会 大船修道院	42 カトリック八王子教会	85 ショファイュの幼まイエズス修道会 内坪井	127 名瀬真愛幼稚園	161 レデンプトリスチン修道会 長崎
8 イエスのカリタス修道女会 亀川修道院	43 カトリック浜松教会	86 ショファイュの幼まイエズス修道会 豊島修道院	128 ナミュール・ノートルダム修道女会管区本部	162 レデンプリスチン修道会 鎌倉
9 イエスのカリタス修道女会 管区本部	44 カトリック姫路教会	87 ショファイュの幼きイエズス修道会 仁川	129 ヌヴェール愛徳修道会 九条修道院	163 レデンプリスチン修道会 宮崎
10 イエスのカリタス修道女会 甲府修道院	45 カトリック富士教会病者の会	88 白百合学園小学校慈善協力献金	130 ヌヴェール愛徳修道会地区本部	164 レデンプトリスチン修道院 大分
11 イエスのカリタス修道女会 外海修道院	46 カトリック松原教会	89 聖カタリナ学園高等学校生徒会	131 ノートルダム清心女子大学附属幼稚園	165 煉獄援助修道会
12 イエスのカリタス修道女会 松本修道院	47 カトリックマリア会地区本部	90 聖クララ会修道院	132 ノートルダム清心中・高等学校	166 殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会
13 援助修道会リヒトハイム修道院	48 カトリック茂原教会	91 聖クララ修道院 桐生市	133 パリミッション女子会尼崎	
14 援助マリア修道会東京修道院	49 カトリック八幡教会	92 聖クララ幼稚園 邑楽郡	134 藤学園 藤幼稚園	
15 援助マリア修道会西宮修道院	50 神のみ摂理修道女会	93 聖血礼拝修道会	135 雙葉小学校児童会	
16 援助マリア修道会福山修道院	51 カルメル会修道院 西宮	94 聖ザベリオ宣教会	136 ベタニア修道女会聖ベルナデッタ第一修道院	
17 大分明星幼稚園	52 カルメル修道院 大分	95 聖心侍女修道会管区本部	137 ベタニア修道女会ベトレヘム第一修道院	
18 大阪聖ヨゼフ宣教修道女会	53 カルメル修道会 京都	96 清心中学校·高等学校	138 ベタニア修道女会ベトレヘム第三修道院	
19 大阪聖ヨゼフ宣教修道女会香里修道院	54 カルメル修道会 長野	97 聖心の布教姉妹会	139 ベタニア修道女会本部修道院	
20 大阪大司教区本部事務局	55 蒲原聖母幼稚園	98 聖心の布教姉妹会 寺内修道院	140 ベリス・メルセス宣教修道女会高円寺修道院	166件団体入金者
21 幼き聖マリア修道院	56 暁星小学校シャミナード会	99 聖心の布教姉妹会 保戸野修道院	141 ベリス・メルセス宣教修道女会第一修道院	1回のみ記載
22 オタワ愛徳修道女会	57 キリストイエズスの宣教会 小野田修道院	100 清泉女子大学 総務課	142 ベリス・メルセス宣教修道女会第二修道院	
23 お告げの聖母トラピスト修道院	58 キリストイエズスの宣教会 防府修道院	101 聖体奉仕会	143 ベリス・メルセス宣教修道女会第四修道院	
24 お告げのフランシスコ姉妹会	59 グアダルベ宣教会	102 聖ドミニコ会聖ヨゼフ修道院	144 ベリス・メルセス宣教修道女会萩修道院	
25 海星学園 如己の会	60 クリスト・ロア宣教修道女会	103 聖ドミニコ宣教修道女会岡崎修道院	145 ベリス・メルセス宣教修道女会廿日市修道院	
26 カトリック麻布教会	61 けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会	104 聖ドミニコ宣教修道女会松山修道院	146 マリア会海星修道院	
27 カトリック磯子教会	62 汚れなきマリア修道会 調布修道院	105 シャルトル聖パウロ女子修道会	147 マリア会シャミナード修道院	
28 カトリック岡谷教会	63 汚れなきマリア修道会 東村山修道院	106 聖フランシスコ修道院	148 マリアの宣教者フランシスコ修道会熊本修道院	
29 カトリック北26条教会	64 汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道女会	107 聖フランシスコ修道院 姫路	149 マリアの宣教者フランシスコ修道会札幌修道院	
30 カトリック小牧教会	65 光塩女子学院初等科	108 聖フランシスコ病院修道女会姫路第二	150 マリアの宣教者フランシスコ修道会種子島修道院	
31 カトリック金剛教会	66 香里ヌヴェール学院中高生徒、職員恵のマリア募金	109 聖ベネデイクト女子修道院	151 マリアの宣教者フランシスコ修道会東京第三修道院	
32 カトリック鈴蘭台教会	67 御受難修道女会	110 聖母被昇天修道会高松修道院	152 マリアの宣教者フランシスコ修道会東京第二修道院	
33 カトリック聖マリア在俗会	68 御聖体の宣教クララ会 本部修道院	111 聖母被昇天修道会地区本部	153 マリアの宣教者フランシスコ修道会戸塚修道院	
34 カトリック高岡教会	69 御聖体の宣教クララ修道会 飯田修道院	112 聖母奉献修道会	154 マリアの宣教者フランシスコ修道会本部	
35 カトリック立川教会	70 御聖体の宣教クララ修道会 大泉修道院	113 聖マリア修道女会		
	71 コングレガシオン・ド・ノートルダム管区本部	114 マリアの汚れなき御心のフランシスコ姉妹会		
	72 コンヴェンツアル聖フランシスコ修道会 小長井	115 聖マリアの無原罪教育宣教修道会		
	73 サレジアンシスターズ 大分	116 聖霊修道院		
	74 サレジアンシスターズ 管区本部	117 聖霊奉持布教修道女会		
	75 サレジアンシスターズ マンママルゲリータ修道院	118 仙台百合学院ナザレト幼稚園		
	76 サレジアンシスターズ世田谷岡本受付	119 田園調布雙葉小学校		
	77 サレジアンシスターズ玉造修道院	120 田園調布雙葉中学高等学校		
	78 サンタマリア修道院			
		l .	1	1

### 個人支援者

<b>個人文抜</b> 有						
1 HARVEY P. A.	36 岩藤 大和	71 川里 宏	106 塩谷 敦子	142 谷山 正恵 178 励 長吉郎	214 松岡 詔子	250 吉元 正子
2 青木 紀子	37 上田 哲郎	72 川野 澄子	107 執行 セツ子	143 俵 靖子 179 長谷川 千恵	215 松田 宏	251 ヨゼフ-アベイヤ
3 赤岩 清子	38 氏家 信子	73 川邨 裕明	108 篠岡 淑子	144 ダンテビチリニウ 180 長谷川 澧子	216 松田 宏紀	252 ロジェ・ブロヴァンシェ
4 阿部 圭子	39 氏家 豊浩	74 木嶋 えつ子	109 嶋田 淳子	145 津上 幸子 181 波多野 真理子	217 松田 征雄	253 渡辺 征子
5 アベ リエコ	40 海野 綾子	75 北村 妙子	110 島田 澄子	146 辻村 寛行 182 八村 美世子	218 松田 美樹	254 宮脇 章郎
6 新井 孝利	41 永 富久雄	76 北村 文代	111 島田 光子	147 津田 三恵子 183 服部 栄子	219 松原 瑞房	255 諏訪 なほみ
7 荒川 ひろみ	42 江口 照子	77 木下 美惠子	112 清水 治美	148 堤 俊 184 花田 道子	220 松本 豊子	256 西村 とし子
8 飯田 惠美子	43 江澤 健二	78 癸生川 節子	113 清水 正勝	149 露木 実 185 林 暁美	221 三浦 文子	257 武村 奈緒子
9 飯田 圭子	44 衛藤 文徳	79 木村 稔子	114 重黒木 まゆみ	150 寺田 公之 186 林田 伸子	222 三谷 正子	258 濱道 恭輝・クミ子
10 井上 武	45 榎本 玲子	80 木山 陸男	115 白石 幸子	151 トイケ イズミ 187 原 桂子	223 南方 恭子	259 髙橋 信子
11 池上 浩之	46 遠藤 時夫	81 桐岡 貴惠	116 白鳥 恵美子	152 当津 順子 188 東田 裕子	224 ミナミノ シゲル	
12 池田 哲也	47 王 秀寧	82 金祝司祭	117 新宮 幸子	153 徳山 伸子 189 平澤 忠雄	225 宮崎 康子	259件個人入金者
13 池田 二三代	48 大西 惠子	83 クームス・ジョン		154 『ニコネモビノ・サンミゲル神》 190 平塚 陽子	226 宮部 登	匿名を除く
14 池田 昌也	49 大西 勇一	84 クームス・マキ		155 戸村 信子 191 平野 律子	227 三輪 春美	1回のみ記載
15 石井 洋子	50 大野 喜義	85 久喜 隆夫	120 鈴鹿 恵美子	156 友松 眞千代 192 平松 裕子	228 武藤 昭子	
16 石田 望	51 岡田 和子	86 草田 恵美子	121 鈴木 裕子	157 豊島 究 193 広瀬 昌代	229 ムトウ イサヤ	
17 石原 晶世	52 岡田 萌・藍・真侑		122 スミス 睦子	158 鳥居 孝一 194 樋渡 健司郎	230 森 円	
18 泉 恭子	53 オカモト カツヒコ		123 住友 寛子	159 中川 和子 195 深水 正勝	231 森 由理	
19 磯谷 眞理子	54 小川 美智子	89 黒木 亨始	124 園田 滋	160 中島 アツ子 196 福岡 いさ子	232 薬師 昭子	
20 板垣 謹	55 小川 滿	90 黒木 美智子	125 高木 実	161 中島 英子 197 福岡 静子	233 ヤナギシタ トモコ	
21 井手 公平	56 小川 弥生	91 此枝 孝子	126 高瀬 紀子	162 中島 玲子 198 藤田 武子	234 柳谷 圭子	
22 井手 俊數	57 幼まイエズス修道院 指答シスター	92 古質教会オブレート会マミ	127 高田 紀代子	163 永田 弘子 199 藤田 照子	235 山内 春治	
23 伊藤 厚志	58 越知 俊雄	93 小島 昭子	128 高田 ひさえ	164 中野 娃子 200 藤田 ふみ子	236 山口 悠紀子	
24 伊東 千秋	59 小野 治子	94 後藤 彰子	129 高月朱美	165 中村 史子 201 更田 史子	237 山崎 さち子 (幸子)	
25 犬丸 里利	60 折笠 澄子	95 小林 ひとみ	130 鷹嘴 信子	166 長山 好子 202 舟井 浩子	238 山田 満喜	
26 井上 靜子	61 角山 美子	96 近藤 恵津子	131 高橋 泉	167 ナグモ カズコ 203 船越 睦子	239 山田 真知子	
27 井上 信一	62 景山 信義	97 近藤 朋子	132 高橋 ひろみ	168 成井 大介 204 舟橋 美恵	240 山羽 啓子	
28 井上 建紀 29 井上 伸之	63 片岡 寿美子 64 片岡 玉江	98 近藤 優子	133 高橋 真理 134 高山 協子	169   西田   淑子   205   細川   理香子	241 山村 かずみ 242 山本 強	
29 井上 神之 30 井上 淑子		100 櫻井 茂子	134 高山 協士		242 山本 強 243 山本 昌子	
31 今 和	65 片岡 万里 66 堅田 久美子	100 櫻井 戊丁	135 滝沢 正子	171 西山 康徳   207 米谷 征子   172 根岸 眞子   208 眞下 まゆみ	243 山本 高ナ	
32 今泉 正子	67 加藤 千代	101 櫻井 同明	136 田口 純子	172 仮序 奥ナ 208 奥ト まゆみ 173 根橋 敦子 209 増田 とき枝	244 八輪 ともナ 245 吉浦 繁子	
32 万泉 正士 33 岩崎 正幸	68 加登本 拡	102 使升 住于	137 刊内 ひとみ	173 依備 敦子 209 増出 こさ校 174 野崎 寧 210 益田 典子	245 吉油 楽士	
34 岩田 幸子	69 川内 惠美子	103 佐藤 探士	138 竹中 厚于	174 野樹 學 210 盆田 典于 175 野村 忠正 211 増田 美智子	246 古田 坦一 247 吉村 毅之	
35 岩谷 美禰子	70 川崎 稲子	104 佐藤 隆	140 田所 正子	176 萩原 光代 212 松尾 京子	248 内田 朝子	
55 有甘 大棚」	10 / I MAJ 118 J	103 区川 州丁	141 田中 靜枝	177 萩原 義幸 213 松岡 健一・博子	249 後藤 由美子	
			141 四十 別仅	111	243 收账 田天丁	





# 「海外宣教」

# 海の日、そこで働く人たちを思いながら

(7月第2日曜日)

### マリオ 山野内倫昭 さいたま教区司教

カトリックの典礼暦では、7月の第2日曜日は「海とそこで働く人たちのために祈る日」です。 ですから、二つの小さなエピソードを分かち合いたいと思います。

現在、私たちの生活は、昔より更に海の貿易と、港と海を行き来する多くの船で働く人々によって支えられています。この海の日に、みなさんは日本の司教団がさまざまな言語でホームページに載せているメッセージを読むことができます。

### 港に停泊する船を訪問して

この数年間は、日本の港に停泊する船を、許可を得て訪問し、そこで働く人たちへの司牧体験を、「海の日のメッセージ」として分かち合ってきました。 食べ物、カップラーメンやインスタントのもの、さまざまなグループが毛糸で編んだ帽子などを船に届けました。 多くの船員たちの部屋に、十字架を見ることができ、嵐や海賊に対するお守りなどもあります。 彼らとのコミュニケーションには英語が使われました。

パンデミックによって、この何年かはそのような訪問ができませんでした。船員たちは下船して買い物すること、教会へ行くことが禁止されました。しかし、ある港では冬になると帽子やカップラーメンなどを配っていました。

今年、ステラマリスのチームは、港で働く人たちの経験を分かち合うことが良いと考えました。 彼らの経験によって、海と港の仕事が国々のコニュニケーションの扉であること、その重要性を 理解し、評価するためです。私たちの多くが、この産業で働く人たちが不足していることを知り ません。港では造船所や船の修理のために外国の人を受け入れる必要性を感じています。それら に関連している工場では緊急な対策が必要です。また同時に、魚介類の食品への加工においても、 働き手が不足しています。

以下は、私がアルゼンチンへの渡航の際に、ブラジル丸で聞いた二つのエピソードです。

#### 強い嵐に直面するとき

1965年、私が子どもの時に、2カ月のアルゼンチンへの船旅(神戸からブエノス、5月31日から7月21日)をした時に聞いたエピソードから始めましょう。私がアルゼンチンへ渡ったブラジル丸で、1,000人ほどの人たちがラテン・アメリカに着きました。同じ船がその年の秋、東京オリンピックに出場する人たちを日本へ運びました。

その旅で、ある船員から聞いた話が印象に残っています。50歳くらいの船員が日本に家族を残して20年間、船で働いていました。話を聞いていたのは夕方で、イルカが私たちの船の横を泳ぎ回って無料のショーを見せてくれていました。その光景を見ながら船員は、かつて船が台風に襲われた時に起きたことを話してくれました。彼は目を閉じ、右手で廊下の突き当たりにあった鉄の扉を指しました。その扉から大きな波が入らないようにしなければならないのです。

太平洋上で、台風が強い風と共に船を直撃しました。雨が滝のように降り、全長 150 メートル以上の船が、胡桃のように波に飲まれそうになりました。大きな音が響き渡り、鉄の扉が剥がれて、木の葉のように外れて海に落ちました。これ以上強い台風を、船員は思い出せないそうです。海の仕事に慣れていたにもかかわらず、「もうこれでおしまい」と感じたそうです。

それを聞いた時、私は8歳半くらいでした。船員の話の中にあった扉は、今自分が乗っている船、毎日自分が出入りしている扉だと分かりました。それを意識した時から、私は毎日お祈りするようになりました。ブエノスに着くまで、そのような台風に遭わないようにと。その通りになりました。後にその船員は、今までの旅でこの航海が一番おだやかだった、と言いました。大西洋でちょっと雨が降っただけでしたから。

#### 預言者ヨナのように

船員の生活は、毎日変わりばえしない、単調な日々のように見えます。例外は港に着いた時、 地面を踏んで買い物をしたり、船上とは違う食べ物を食べ、教会に行って祈ることです。

しかし彼らは、ある会社から違う会社に移ることがあります。船での仕事は同じであっても。 たくさんのエピソードがありますが、人を乗せる船でなければ、このように経験を分かち合うこ とはあまり多くはありません。助け合いながら働き、特に病気の時に支え合います。しかし、船 では常に孤独感があります。特に家族への想いがあります。

もう一つ、ある船員の聖書的体験をお話ししましょう。私は画用紙に色鉛筆で、彼の絵を描い たのを覚えています。南アメリカに移民を運ぶブラジル丸で働く前に、彼は大きな漁船で働いて いました。数カ月間の洋上の仕事の後、お土産やお金を持って日本に戻り、数週間休んで家族と 過ごしていました。ある日、太平洋の真ん中で網の手入れをしていた時、船が急にスピードを上 げたのです。油断していた彼は滑って海に落ちました。その話を聞いた時、私はその船員が水に 浮いて泳げたのだと思いました。しかし、服を着て長靴を履いていて、しかも強い泡だらけの波、 塩っ辛い水の中では泳ぐことはできません。「もう終わり」と思ったそうです。塩水を飲み込ん で呼吸ができません。最悪なことに、彼が見ているうちに船は遠ざかっていきました。彼は私の ようにクリスチャンではありませんが、子どもたちと妻のために祈りました。「全て終わり」と思っ た時、船が方向を変えて彼のところに戻ってきました。「その船員が黄色かオレンジのライフジャ ケットを着ていたから船が気付いてくれたんだ」と、子どもの私は想像しました。船上で緊急時 の訓練をしたことがあったので、そう思ったのです。船からロープが投げられたのではなく、マ グロのように大きな網で掬い上げられたそうです。これを語っていた彼は感動していました。彼 とその仲間たちは、彼が海から救われたことに涙を流し、手を合わせて神に感謝しました。船長 さんが素早く船を回転させて、落ちた人のところへ戻ったことに感謝しました。ある規模以上の 船は、すぐには回転できず、戻るのは大変だったのです。

### 海で働く人のために、感謝と祈りを忘れず

海と港は、私たちの生活に必要なさまざまな物が出入りする場所です。しかし私たちは、海から侵入する悪に対して無知であってはならないのです。悪は見えないルートから入ってきます。 別の機会に、この点について考える必要があります。

海や港や船で働く多くの人たちに感謝しましょう。彼らとその家族のために祈りましょう。特に女性たちは家の責任を負って、子どもたちを物質的、教育的に支えています。時に、家計を支えるために働かなければなりません。

ステラマリス (海の星) の聖母が全ての船員とその家族、港で働く全ての人を守ってくださいますように。海の星であるマリア、私たちのために祈ってください。アーメン。

# 新しい支援者

個人会員 5名+匿名2名

金田 永子(東京都港区) 渡邊 隼郎(東京都世田谷区) 酒井 三貴子(東京都港区) 間野 秀昭(大阪市淀川区) 濱道 泰輝・クミ子(福岡県糟屋郡) 匿名・その他2名

# 事務局より

- ◎今年度も新しい活動が始まって4か月が過ぎました。8月の夏休み後9月16日(土)には「官教者のお話を聞く会」を開催致します。チラシ面をごらんください。
- ◎今回は2022年度に寄付や会費をお送りくださいました方(匿名希望除く)全員のお名前を掲載させて頂きました。皆様に感謝を申し上げます。
- ◎ 2022 年度の決算報告書類を掲載させて頂きご報告と致します。
- ◎試みとして「新入会員」のお名前を「新しい支援者」として掲載させていただきました。
- ◎事務所は火曜日・金曜日 10 時~ 16 時にオープンしています。
- ◎皆様のご家庭で眠っています未使用のはがきや切手がございましたら是非お送りください、 通信費として大切に使用させていただきます。

# 編集後記

◇インフルエンザと同じ扱いになった新型コロナですが、少しずつ感染者が減っていましたが、子供たちの夏休みや職場の夏期休暇の影響でまた増えつつあるようです。マスク着用も個人の判断となり、公道を歩く殆どの方は着けなくなりました。また、電車等の交通機関でも、ラッシュ時には半数以上の方が着けていますが、昼間では数人程度になっています。病院ではほぼ着けていますが、高齢の方や基礎疾患をお持ちの方はとても不安だと思います。安心できる日々が早く来ることを願い祈り続けたいと思います。(い)

# 発行:日本カトリック海外盲教者を支援する会

〒106-0032 東京都港区六本木4-2-39
Tel. 03-5770-8753 Fax. 03-5770-8754

e-mail kaigai-senkyo@cronos.ocn.ne.jp URL http://www.kaigai-senkyo.jp

- ・銀行振替口座 みずほ銀行高田馬場支店 普通 2084112 日本カトリック海外宣教者を支援する会
- ・郵便振替口座 00140-5-67881 海外宣教者を支援する会